

玉本なるみ

です



連絡先：日本共産党北地区委員会 ☎075 - 432 - 3261

2020年4月①号

予算議会報告 3月25日閉会

2020年度の予算を審議する議会が閉会しました。コロナウイルス感染が広がる最中の議会で、市民の皆さんの実態や要望を議会で取り上げ、取り組みました。

広がるコロナウイルス感染

感染者が増え、行事の自粛が進む中で、健康と共に暮らし・営業などの経済的な不安が広がっています。当初、想像していたよりも事態は深刻化していると感じている人が多いと思います。

熱発の症状はいろんな病気にありますが、もし、自分がコロナウイルスに感染したらと不安を感じている方も多いと思います。医療関係者の方も日々、感染への対応に神経をすり減らし、頑張ってくれています。

今後、感染者が増えて、感染者を受け入れる病床が足らなくなれば、「軽症者は一般病院などでの受け入れも」と言われていますが、軽症でも感染はするので受け入れる病院にしてみたら、そんな簡単な問題ではありません。

とりわけ、民間病院の場合は、感染者が出ると、病院閉鎖となり、市民の医療を受ける権利や、病院経営にも甚大な被害が出ます。

政府は医療機関がコロナウイルス対策に取り組めるように、必要な情報やマスクや防護服など衛生材料の提供、必要なお金の援助も、躊躇なく実施する必要があります。

卒業式や転勤などに関する行事が多い3月の自粛により、厳しい選択に業者は置かれています。

とりわけ、**フリーランス**で働く、芸術家や舞台技術関連業者（音響設備など）の方は、仕事がほとんどキャンセルされ、実収入が入らず、暮らしそのものが脅かされています。これまでの政府や京都市の支援策は融資が中心です。第三弾の経済対策では現金給付に踏み切るべきです。引き続き、国会や府会議員とも力を合わせ取り組みます。



今年度は、初めて「文化環境委員」になりました。

文化市民局は、文化芸術、くらし、安全、消費者生活、地域自治、人権文化、男女共同参画、市民スポーツなどを担当し、環境政策局は地球温暖化対策、ごみ減量推進などを担当しています。

とりわけ、**コロナウイルス感染症の影響**で、仕事が激減している音楽や芸術関係者の皆さんの支援策は喫緊の課題です。

日本共産党の政策として、積極的に取り組む方針の「**ジェンダー平等**」の取り組みに頑張りたいと思っています。

環境問題では、異常気象からも明らかな**地球温暖化対策**について、しっかりと学習し、質疑をしていきたいと思っています。ご意見やご要望など、ぜひお寄せください。



つぶやき：人の命が犠牲になるなんて許せない！ 赤木俊夫さんの無念の遺書にいかに応えるか！

財務省文書改ざんに対して、第三者委員会を立上げ、再調査を求める署名がすでに20万筆を超えて寄せられています。絶対にうやむやにさせてはならないと思います。人の命がなくなっている事実は重く受けとめるべきです。



アンテナ 志村けんさん

私の年代は子どもの頃、ドリフターズの絶頂期で、8時だヨ！全員集合は必ず見ていました。志村けんさんが荒井注さんの後、新メンバーになった時もリアルタイムで見ました。東村山音頭も踊ってましたね。私は悪ふざげ過ぎるお笑い好きではないですが、志村さんは、お笑いの歴史を作ってきた人だと思います。その志村けんさんが、入院してから超スピードで悪くなり亡くなられた経過の報道を聞き、危機感を持った方は私だけではないと思います。



まだまだ広がる状況の中で、医療や検査体制の弱さを感じています。病院は、陽性や疑いのある患者さんを受け入れる場合は、院内感染を起こさない万全の体制で受け入れなくてはなりません。しかし、物も人材も不足している状況では多くの困難が伴います。とにかく、医療機関もすでに、患者数が減っており、診療報酬が低く経営が厳しくなっています。お金のことを心配して、体制が組めないということがあるように、政府が予算も組み、医療機関にお願いたしません。国は対応すべきだと思います。京都市や国に対しても、要望を強めていきます。

